

第5章 公害の苦情

1. 公害苦情の受理件数

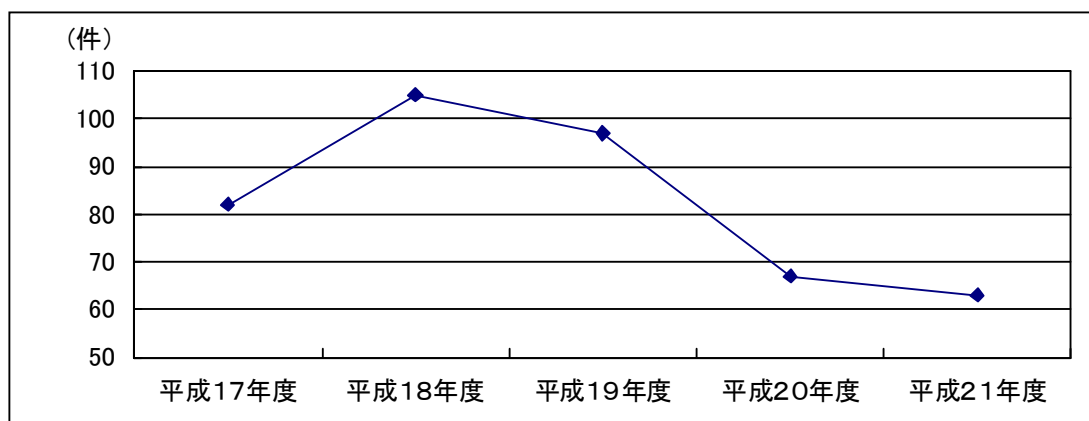
平成21年度に取り扱った苦情件数は63件、そのうち新規直接受理した件数は63件（100%）であり、前年度に比べて4件減少した。

表5-1 受理件数の内訳

年度	合 計	新規直接受理	他からの移送	前年度からの繰越
17	83	82(98.8%)	0(0.0%)	1(1.2%)
18	105	105(100%)	0(0.0%)	0(0.0%)
19	97	97(100%)	0(0.0%)	0(0.0%)
20	67	67(100%)	0(0.0%)	3(4.3%)
21	63	63(100%)	0(0.0%)	0(0.0%)

図5-1 新規直接受理件数の経年変化

公害苦情新規直接受理件数



	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
件数	82	105	97	67	63

2. 公害の種類別苦情件数

公害の種類別の苦情件数を見ると、焼却行為による大気汚染苦情が多くなっており、次いで水質による苦情となっている。

表5－2 種類別苦情件数（新規直接受理）

年度 \ 種別	大気	水質	土壌	騒音	振動	地盤	悪臭	その他	合計
平成17年度	22	11	1	16	2	0	14	16	82
	27%	13%	1%	20%	2%	0%	17%	20%	100%
平成18年度	35	13	2	13	5	0	21	16	105
	33%	12%	2%	12%	5%	0%	20%	15%	100%
平成19年度	33	13	0	16	0	0	21	14	97
	34%	13%	0%	16%	0%	0%	22%	14%	100%
平成20年度	29	15	0	7	1	0	7	8	67
	43%	22%	0%	10%	1%	0%	10%	12%	100%
平成21年度	22	12	1	11	3	0	9	5	63
	35%	19%	2%	17%	5%	0%	14%	8%	100%

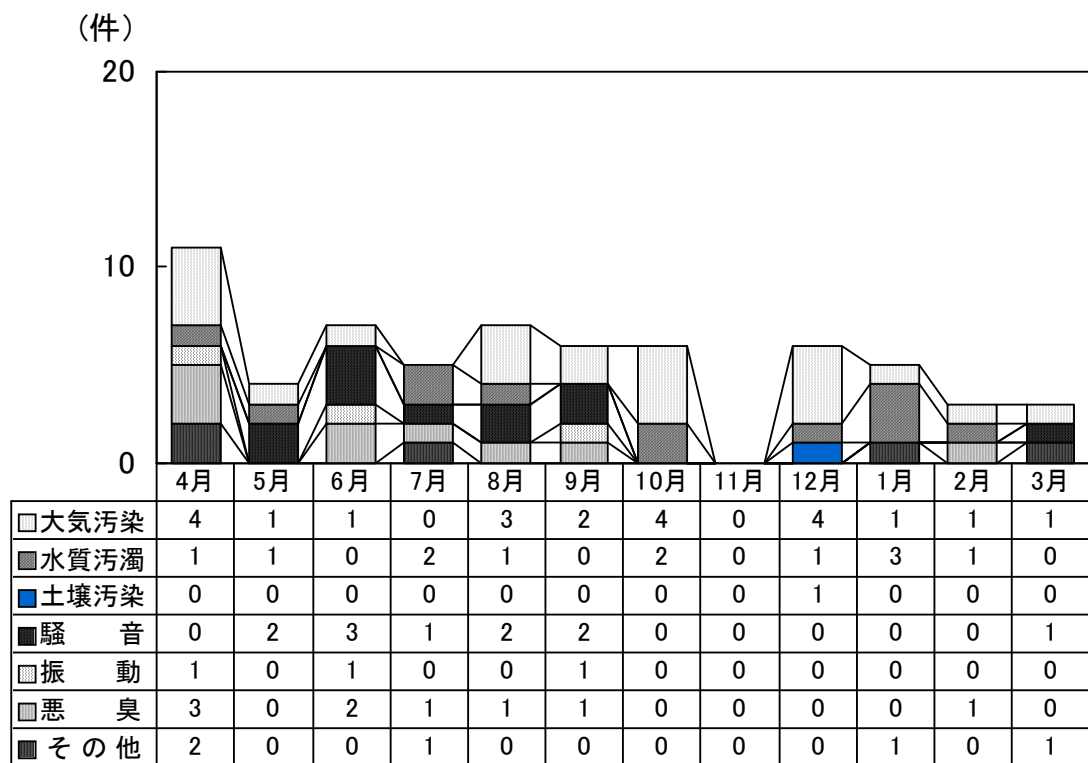
3. 月別苦情受付件数

受理した苦情を月別に見ると、11月を除いて、それ以外は季節に関わらず苦情が寄せられている。

表5-3 月別苦情件数

種別\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大気汚染	4	1	1	0	3	2	4	0	4	1	1	1	22
水質汚濁	1	1	0	2	1	0	2	0	1	3	1	0	12
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
騒音	0	2	3	1	2	2	0	0	0	0	0	1	11
振動	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
悪臭	3	0	2	1	1	1	0	0	0	0	1	0	9
その他	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	5
合計	11	4	7	5	7	6	6	0	6	5	3	3	63

図5-2 月別苦情件数



4. 発生源別苦情件数

新規直接受理件数を発生源別に見ると、平成21年度では農業が一番多くなっており、次いで建設業、不明となっている。

表5-4 発生源別苦情件数

年 度	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
農業	6	7.3 %	8	7.6 %	2	2.1 %	7	10.4 %	14	20.9 %
建設業	12	14.6 %	13	12.4 %	13	13.4 %	12	17.9 %	10	14.9 %
製造業	6	7.3 %	11	10.5 %	7	7.2 %	1	1.5 %	3	4.5 %
電気・ガス・熱供給・水道業	1	1.2 %	3	2.9 %	1	1.0 %	1	1.5 %	1	1.5 %
運輸業	1	1.2 %	2	1.9 %	2	2.1 %	0	0.0 %	0	0.0 %
卸売・小売業	2	2.4 %	6	5.7 %	8	8.2 %	2	3.0 %	3	4.5 %
飲食店・宿泊業	5	6.1 %	8	7.6 %	5	5.2 %	3	4.5 %	2	3.0 %
医療・福祉	0	0.0 %	0	0.0 %	1	1.0 %	0	0.0 %	0	0.0 %
サービス業	10	12.2 %	3	2.9 %	4	4.1 %	4	6.0 %	8	11.9 %
公務	0	0.0 %	0	0.0 %	0	0.0 %	0	0.0 %	2	3.0 %
家庭生活	13	15.9 %	17	16.2 %	21	21.6 %	14	20.9 %	3	4.5 %
家庭生活のペット	1	1.2 %	0	0.0 %	0	0.0 %	0	0.0 %	0	0.0 %
事務所	1	1.2 %	0	0.0 %	0	0.0 %	1	1.5 %	1	1.5 %
道路	0	0.0 %	1	1.0 %	1	1.0 %	0	0.0 %	1	1.5 %
空地	0	0.0 %	1	1.0 %	1	1.0 %	2	3.0 %	0	0.0 %
その他	8	9.8 %	8	7.6 %	9	9.3 %	6	9.0 %	6	9.0 %
不明	16	19.5 %	24	22.9 %	22	22.7 %	14	20.9 %	9	13.4 %
合計	82	100 %	105	100 %	97	100 %	67	100 %	63	100 %

5. 地域別苦情発生件数

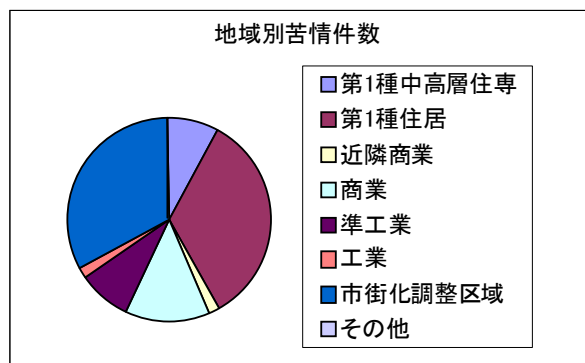
平成 21 年度新規受理した苦情の発生場所をみると、第 1 種住居と市街化調整区域がそれぞれ 20 件（31.7%）と最も多く、次に商業の 8 件（12.7%）と続いている。

表 5－5 被害の用途地域別苦情件数

年度	種別	第1種 低層 住専	第1種 中高層 住専	第1種 住居	近隣 商業	商業	準工業	工業	市街化 調整 区域	その他	合計
平成17年度		4 4.9%	12 14.6%	16 19.5%	3 3.7%	4 4.9%	10 12.2%	0 0.0%	33 40.2%	0 0.0%	82 100%
平成18年度		7 6.7%	14 13.3%	33 31.4%	2 1.9%	5 4.8%	13 12.4%	3 2.9%	28 26.7%	0 0.0%	105 100%
平成19年度		5 5.2%	12 12.4%	25 25.8%	7 7.2%	7 7.2%	12 12.4%	2 2.1%	27 27.8%	0 0.0%	97 100%
平成20年度		8 11.9%	6 9.0%	15 22.4%	3 4.5%	2 3.0%	8 11.9%	1 1.5%	24 35.8%	0 0.0%	67 100%
平成21年度		3 4.8%	5 7.9%	20 31.7%	1 1.6%	8 12.7%	5 7.9%	1 1.6%	20 31.7%	0 0.0%	63 100%

図 5－3 地域別苦情件数

	件数	%
第1種低層住専	3	4.8%
第1種中高層住専	5	7.9%
第1種住居	20	31.7%
近隣商業	1	1.6%
商業	8	12.7%
準工業	5	7.9%
工業	1	1.6%
市街化調整区域	20	31.7%
その他	0	0.0%
合計	63	100%



6. 被害の種類別苦情件数

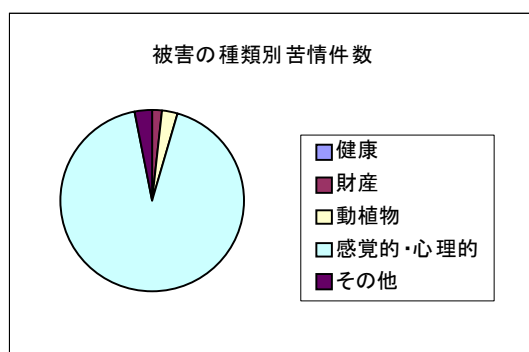
平成 21 年度に新規直接受理した苦情を被害の種類別に見ると、感覚的・心理的な被害（うるさい・臭い・不快などで心身の健康を害するに至らないもの）が 58 件(92.1%)で最も多く、次に動植物に関する被害が 2 件(3.2%)、その他が 2 件(3.2%)と続いている。

表 5－6 被害の種類別苦情件数

年度 \ 種別	健康	財産	動植物	感覚的・心理的	その他	合計
平成 17 年度	2	0	3	75	2	82
	2.4%	0.0%	3.7%	91.5%	2.4%	100%
平成 18 年度	0	8	5	92	0	105
	0.0%	7.6%	4.8%	87.6%	0.0%	100%
平成 19 年度	3	6	5	83	0	97
	3.1%	6.2%	5.2%	85.6%	0.0%	100%
平成 20 年度	3	0	6	58	0	67
	4.5%	0.0%	9.0%	86.6%	0.0%	100%
平成 21 年度	0	1	2	58	2	63
	0.0%	1.6%	3.2%	92.1%	3.2%	100%

図 5－4 被害の種類別苦情件数

	件数	%
健康	0	0.0%
財産	1	1.6%
動植物	2	3.2%
感覚的・心理的	58	92.1%
その他	2	3.2%
合計	63	100%



7. 公害苦情の処理状況

平成21年度で取り扱った苦情件数は63件であり、次年度への繰越は0件であった。

表5-7 受理・処理件数

種 別 年 度	苦情件数 (繰越等含む)	解 決	移 送			その他	繰 越
			国等の 機関へ	警 察	小 計		
平成17年度	83	83	0	0	0	0	0
	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%
平成18年度	105	105	0	0	0	0	0
	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%
平成19年度	97	94	0	0	0	0	3
	100%	97%	0%	0%	0%	0%	3%
平成20年度	67	67	0	0	0	0	0
	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%
平成21年度	63	63	0	0	0	0	0
	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%